



2019年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2018年7月30日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社NSD
 コード番号 9759 URL <http://www.nsd.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 今城 義和
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理・IR室長 (氏名) 八木 清公
 四半期報告書提出予定日 2018年8月10日
 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(TEL) 03-3257-1250

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第1四半期の連結業績(2018年4月1日~2018年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第1四半期	15,112	6.0	1,974	11.1	1,969	8.4	1,205	7.0
2018年3月期第1四半期	14,263	7.3	1,777	28.4	1,816	30.4	1,126	37.5

(注) 包括利益 2019年3月期第1四半期 1,269百万円(2.0%) 2018年3月期第1四半期 1,244百万円(61.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第1四半期	28.68	28.68
2018年3月期第1四半期	26.42	26.42

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第1四半期	50,599	43,756	85.7
2018年3月期	54,046	46,013	83.9

(参考) 自己資本 2019年3月期第1四半期 43,349百万円 2018年3月期 45,368百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	-	0.00	-	52.00	52.00
2019年3月期	-				
2019年3月期(予想)		0.00	-	54.00	54.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日~2019年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	29,500	2.6	3,700	3.2	3,700	1.6	2,400	3.7	57.25
通期	60,000	3.3	8,100	2.3	8,200	1.0	5,500	2.4	131.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期1Q	47,172,160株	2018年3月期	47,172,160株
② 期末自己株式数	2019年3月期1Q	5,351,137株	2018年3月期	4,936,443株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期1Q	42,023,826株	2018年3月期1Q	42,650,444株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

・四半期決算補足説明資料は、2018年7月30日(月)に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済につきましては、一部で景気拡大に足踏みが見られるなど先行きに不透明感はあるものの、堅調な企業業績や雇用情勢の着実な改善等から、個人消費・設備投資ともに緩やかな拡大が続き、景気は回復基調で推移しました。

情報サービス産業におきましては、企業の競争力強化に向けた戦略的IT投資の拡大や、働き方改革への対応をはじめ、生産性改善を目的とした開発需要もあり、受注環境は引き続き良好に推移しました。

当社グループにおきましては、2019年3月期を初年度とする3ヵ年の中期経営計画『NSD～TO THE NEXT STAGE』を策定しました。「人とITの未来」を提案する会社を見据え、主力のシステム開発事業において新技術対応力の向上に取り組むとともに、AIやIoTに代表される新技術領域において新たな成長機会を追求してまいります。併せて、収益基盤強化の観点から、システムサービスやシステムプロダクトの強化も引き続き取り組んでまいります。中期経営計画では、これらの強化・向上に取り組む領域を「新コア事業」(※)と定義し、以下の計数目標を掲げております。

【中期経営計画 計数目標 (2021年3月期)】

連結売上高	630億円
うち新コア事業売上高	100億円 (2018年3月期 55億円)
売上高営業利益率	13%以上
自己資本利益率(ROE)	11%以上

(※)新コア事業とは、新技術関連、システムサービス、システムプロダクトに係る事業をいいます。

この方針のもと、新技術領域において本格的に事業拡大をすべく、2018年4月にこれまで設置していた3つの関連部署を統合し、「先端技術推進本部」を新設しました。先端技術情報・ノウハウの蓄積及び研究を進めるほか、ベンチャー企業との協業による新たなビジネスモデルの展開等を通じて、お客様に最適なソリューションを提供してまいります。さらに5月には京都大学発のAIベンチャーである株式会社Ristと業務提携契約を締結し、共同研究開発を開始しました。

7月には鴻池運輸株式会社と4月に締結した基本合意に基づいて、合弁会社を設立し、KONOIKEグループ向けシステム開発の企画・設計・管理を行うほか、同グループ顧客向けIT関連サービスの導入などを進めてまいります。また、人材管理システム事業強化の観点から、連結子会社であるNMシステムズ株式会社と株式会社ジャパンジョブポスティングサービスを10月1日付で合併し、経営の効率化とさらなるシナジー効果の発揮を図ってまいります。

当第1四半期連結累計期間につきましては、以上の取り組みに加え、良好な受注環境を踏まえ、一層の受注拡大を目指した結果、当社グループの業績は、以下のとおりとなりました。

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	14,263百万円	15,112百万円	849百万円	6.0%
(うち新コア事業売上高)	(1,379百万円)	(1,881百万円)	(502百万円)	(36.4%)
営業利益	1,777百万円	1,974百万円	197百万円	11.1%
経常利益	1,816百万円	1,969百万円	153百万円	8.4%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,126百万円	1,205百万円	78百万円	7.0%

売上高につきましては、システムソリューションサービス事業が順調に推移したことから、前年同期比6.0%の増収となりました。営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、増収による利益の増加等により、いずれも前年同期比増益となりました。

また、中期経営計画の計数目標である新コア事業売上高につきましては、2019年3月期通期の目標額6,600百万円に対し、1,881百万円となりました。

事業のセグメント別の業績は、以下のとおりとなりました。

【セグメント別売上高】

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	前年同期比	
			売上高	増減率
システムソリューション サービス事業	14,167百万円	15,018百万円	850百万円	6.0%
システム開発事業 (うち新技術関連*)	11,192百万円 (-)	11,573百万円 (84百万円)	381百万円 (84百万円)	3.4% (-)
システムサービス事業 (うちサービス型IT*)	2,329百万円 (733百万円)	2,772百万円 (1,125百万円)	443百万円 (391百万円)	19.0% (53.4%)
システムプロダクト事業*	645百万円	671百万円	26百万円	4.1%
不動産賃貸事業	95百万円	94百万円	△1百万円	△1.4%
合計 (うち新コア事業売上高 上記*)	14,263百万円 (1,379百万円)	15,112百万円 (1,881百万円)	849百万円 (502百万円)	6.0% (36.4%)

<システムソリューションサービス事業>

主力のシステム開発事業につきましては、公共団体で大型案件の収束による減収があったものの、金融業からの受注が引き続き高水準であったことや、サービス業、電気・ガス業、運輸業からの受注が大きく伸びたことから、売上高は、前年同期比3.4%の増収となりました。

システムサービス事業は、子会社の株主優待サービス事業での受注増加や、ジャパンジョブポスティングサービス株式会社の連結子会社化等から、売上高は、前年同期比19.0%の増収となりました。

システムプロダクト事業では、セキュリティ関連のプロダクト販売が好調であったことから、売上高は前年同期比4.1%の増収となりました。

<不動産賃貸事業>

不動産賃貸事業につきましては、賃貸不動産の空室率を前年同様に低位に抑えたことから、売上高は前年同期比ほぼ横ばいとなりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比3,446百万円減少し、50,599百万円となりました。主な増減要因は、現金及び預金の減少1,641百万円、受取手形及び売掛金の減少1,617百万円であります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末比1,190百万円減少し、6,842百万円となりました。主な増減要因は、未払法人税等の減少526百万円、買掛金の減少229百万円、賞与引当金の減少174百万円であります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末比2,256百万円減少し、43,756百万円となりました。主な増減要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益による増加1,205百万円、配当金支払いによる減少2,196百万円、自己株式の取得による減少1,001百万円であります。なお、自己資本比率は85.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2018年5月10日に発表しました業績見通しに変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,248,026	20,606,711
受取手形及び売掛金	11,118,243	9,500,504
商品及び製品	217,292	210,571
仕掛品	2,973	2,237
原材料及び貯蔵品	6,479	9,746
その他	559,210	398,871
貸倒引当金	△25,074	△19,292
流動資産合計	34,127,150	30,709,350
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,351,417	3,309,860
土地	4,769,275	4,767,601
その他(純額)	279,012	261,407
有形固定資産合計	8,399,704	8,338,869
無形固定資産		
のれん	2,060,077	2,013,485
その他	570,567	574,237
無形固定資産合計	2,630,645	2,587,723
投資その他の資産		
投資有価証券	6,005,079	5,840,292
その他	2,884,664	3,124,153
貸倒引当金	△760	△760
投資その他の資産合計	8,888,983	8,963,685
固定資産合計	19,919,333	19,890,278
資産合計	54,046,484	50,599,628
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,378,159	2,148,943
未払法人税等	1,312,774	786,591
賞与引当金	398,960	224,313
役員賞与引当金	—	9,500
株主優待引当金	57,131	52,610
製品保証引当金	13,000	—
その他	3,232,346	2,949,305
流動負債合計	7,392,372	6,171,264
固定負債		
退職給付に係る負債	582,255	613,608
その他	58,480	58,024
固定負債合計	640,736	671,633
負債合計	8,033,109	6,842,898

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,205,864	7,205,864
資本剰余金	6,892,184	6,791,123
利益剰余金	39,942,488	38,951,494
自己株式	△6,968,181	△7,969,718
株主資本合計	47,072,356	44,978,764
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	398,853	400,686
土地再評価差額金	△1,005,325	△1,005,325
為替換算調整勘定	208,916	236,146
退職給付に係る調整累計額	△1,306,498	△1,261,155
その他の包括利益累計額合計	△1,704,054	△1,629,647
非支配株主持分	645,073	407,614
純資産合計	46,013,375	43,756,730
負債純資産合計	54,046,484	50,599,628

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

	(単位：千円)	
	前第1四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)
売上高	14,263,406	15,112,715
売上原価	11,518,758	12,006,781
売上総利益	2,744,648	3,105,934
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	366,431	415,878
賞与引当金繰入額	20,455	13,631
役員賞与引当金繰入額	9,000	9,500
退職給付費用	10,633	11,917
福利厚生費	139,651	151,044
賃借料	90,930	94,358
減価償却費	31,500	29,531
研究開発費	2,899	40,086
その他	295,393	365,157
販売費及び一般管理費合計	966,894	1,131,106
営業利益	1,777,753	1,974,827
営業外収益		
受取利息	923	1,038
受取配当金	16,218	15,106
保険配当金	5,788	7,547
その他	19,910	12,516
営業外収益合計	42,841	36,209
営業外費用		
持分法による投資損失	-	32,585
その他	3,674	8,477
営業外費用合計	3,674	41,062
経常利益	1,816,920	1,969,974
特別利益		
投資有価証券売却益	1,309	1,873
ゴルフ会員権売却益	-	866
その他	-	149
特別利益合計	1,309	2,888
特別損失		
持分変動損失	-	2,494
減損損失	13,403	1,674
特別損失合計	13,403	4,169
税金等調整前四半期純利益	1,804,826	1,968,694
法人税等	666,403	773,189
四半期純利益	1,138,422	1,195,504
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	11,684	△9,758
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,126,737	1,205,263

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)
四半期純利益	1,138,422	1,195,504
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	77,048	1,654
為替換算調整勘定	△3,964	26,873
退職給付に係る調整額	33,444	45,343
持分法適用会社に対する持分相当額	—	195
その他の包括利益合計	106,528	74,066
四半期包括利益	1,244,951	1,269,570
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,232,803	1,279,678
非支配株主に係る四半期包括利益	12,147	△10,107

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用につきましては、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

また、一部の子会社につきましては、前連結会計年度の実際実効税率を用いて計算をしております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2017年4月1日至2017年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	システム ソリューション サービス事業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	14,167,828	95,578	14,263,406	—	14,263,406
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	5,257	5,257	△5,257	—
計	14,167,828	100,835	14,268,663	△5,257	14,263,406
セグメント利益	1,750,409	38,920	1,789,329	△11,576	1,777,753

(注) 1. セグメント利益の調整額△11,576千円には、セグメント間取引消去24千円、全社費用△11,601千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	システム ソリューション サービス事業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	15,018,434	94,281	15,112,715	—	15,112,715
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	2,947	2,947	△2,947	—
計	15,018,434	97,228	15,115,662	△2,947	15,112,715
セグメント利益	1,946,850	41,290	1,988,140	△13,312	1,974,827

(注) 1. セグメント利益の調整額△13,312千円には、セグメント間取引消去13千円、全社費用△13,326千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。